

キャムデン派遣を終えて

引率者 新谷 有希奈

キャムデン委員会をはじめとする関係者の皆様に心から感謝しております。派遣事業を行うためにどれだけたくさんの支えがあるのか、そして派遣を継続していくことに対する強い思いを知ることが出来ました。それに伴い、一層大きな責任を感じると共に、この事業に関わらせていただけることをとても嬉しく思いました。また、引率をするにあたり、多くの方から励ましのお言葉をいただき、元気づけられました。ありがとうございました。

6年前に「キャムデン」に出会えたことは人生の中で大きな出来事でした。そして今回、引率者として再び訪れることが出来たことで、また大きなものを得ることが出来ました。「キャムデン」との出会い、多くの人々との出会いでもあり、そして広い世界を知ることでもありました。また、そこでの経験は何物にも代え難い、貴重なものでした。

今年の派遣生は、初めのうちは少し義理堅く消極的でした。しかし、キャムデンに到着してからはチームワークも強くなり、生き活きとした表情で楽しそうに過ごしているのを見て、驚きと嬉しい気持ちになりました。引率の田中さんは、何でも出来て、どんな物でもリュックに入っているドラえもんのような方でした。大変お世話になりました。

この派遣プログラムを通じて、6年前から今日までの間で私が自信を持って言えることは、ホストファミリーとの交流を継続出来ていることだと思います。6年前に出会ったダंकファミリーは、交流をずっと続けていてくれます。久しぶりに会ったはずのお父さん、お母さんも、なぜかつい最近会ったような感覚でした。遠い国で文化も言葉も違うけれど、気持ちや時間などを共有することは可能であること、またそのフレンドシップ交流を続けることの大切さを、改めて今回の派遣を通じて感じる事が出来ました。

キャムデン町と柏市の交流を続けていくことはとても大変なことであると痛感した上でこれからもこの交流が続いていくことを願ってやみません。最後に、改めて感謝申し上げます。



ダंकファミリーのみなさんと